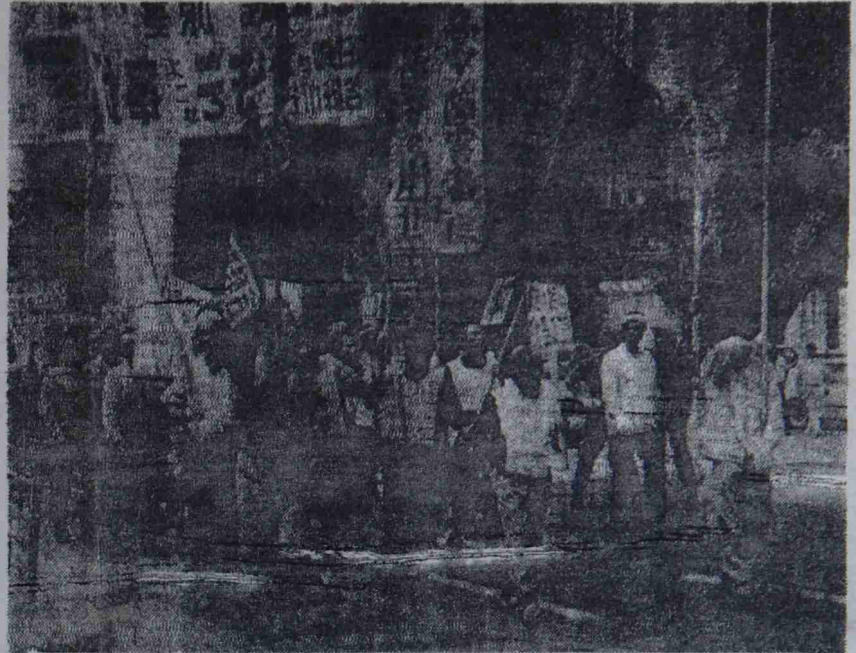


釜ヶ崎解放

1983
7月8日

釜ヶ崎・協議団
西成区校の茶屋 2の5の23
632-4273
どわ



6.24 対府庁「仕事よこせ」デモ

府庁前公園で
「仕事よこせ」
ハンスト決行中
反失業・反差別に
支援連帯を

釜ヶ崎若竹者2万人の内、約半数が失業のどん底にあわれている

大阪府民のみならず

われわれ釜ヶ崎の若竹者達は、4月以降、極端な「ブル」(失業)状態におなわれています。約2万人いると言われる釜ヶ崎若竹者の内、西成若竹福祉センターが把握できているだけでも4千余人が仕事に「ブル」状態には、その倍位の若竹者が仕事に有りつけないのが現状です。

年度末から梅雨明けまでの極端な仕事減少傾向は、一二年の再来の特徴であり、このことは、公共事業費が二四年間伸び率がほぼゼロ、実質的には、マイナスであることに原因しています。

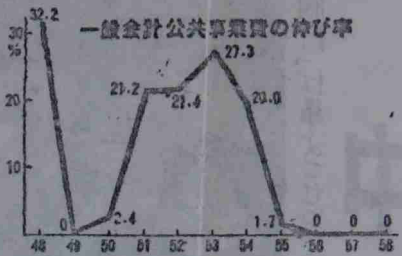
大阪府は特別公共事業を起して、釜ヶ崎若竹者の就労対策を行なうべし

釜ヶ崎は一九七〇年代の高度成長期、特に七〇年万博期に膨張してきました。そして万博以後は、特に七三年春からのオイルショックにより、釜ヶ崎若竹者は、まっ先に使い捨てにされてきました。必死な時には最之限の公共事業に「マラハ」

「オモテよりつつく」

動員してこき使い、工事が終わればお払い箱にする。仕事がないことに責任はない。これが大阪府の姿勢に他なりません。

東京山谷においては、年末年始と4月ねらう月にだけこの仕事のない時期、特別公共事業によってまづし対策を行なっています。大阪府もこれになり、特別公共事業を行なえら。高令者「障害者」に軽作業料金を紹介せよ。これがわれわれの要求です。



横浜の日雇労働者差別・虐殺糾弾
日雇労働者に対する差別待遇対策を
訴へん

仕事がないければ、日雇いで時乞などむつたしに益々崎嶇労働者は、青力と呼ばれる野宿をせざるを得ない状態に陥りこまれてしまします。青力(者)野宿()の数は、今や千人から三千人上っています。野宿してると「浮浪者」として差別され、暴行を受ける事件もヒパツしています。

今年之月に起きた横浜での「浮浪者殺傷事件」は決して横濱特有のものではありません。大阪でも少年らによって同様の行為が行なわれています。しかし、この様なことは、単に少年らの責任にすぎることではできません。行政・警察・商店街の町内会などの保身延命的な「狩り込み」こそ、「手本」をみせているからです。5月初旬の嵐による野宿者の指紋採取、顔写真撮影こそ、大阪築城四百祭に先だけこの「浮浪者狩り」の許しがたきく権限です。

ヒットラーナチスはユダヤ人を量産殺と共に「精神障害者」「浮浪者」狩りを行なっています。『横濱事件』に象徴されるこの間の日雇労働者に対する攻撃は、真にファシズムの予兆と言えます。

広範な市民の抗議・糾弾の声を、中曽根の軍拡・行軍路線に決し、反差別・反失業の共同闘争を。

われわれは、中曽根の日米韓軍事同盟化、侵略に向けた片竹路線の産業報国会化、臨調・行軍路線と対決する方向を鮮明にしつつ、現在、反差別・反失業の共同闘争を闘いぬいています。

圧倒的な支援・連帯を訴えます

Handwritten signature or mark.